

事業所防災リーダー通信 2026 Vol.4

事業所防災リーダーのみなさまへ、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



災害対応マニュアルを作成しよう

災害が発生した時、安全かつ適切に行動するためには「災害対応マニュアル」が大いに役立ちます。マニュアルを作成したらマニュアルに沿って訓練を行い、問題があればマニュアルを改善しましょう。

【Question】あなたの職場に災害対応マニュアルはありますか？



はい

→以下のチェック項目を参考に、マニュアルをより良いものにしましょう。

情報や想定に不足が無いですか？

『東京事業所防災実践マニュアル』などを参考に、情報や想定が足りないところを補いましょう。

全ての従業員が、すぐ読める状態になっていますか？

①マニュアルは**災害が起きた時、すぐ読めるように**しておきましょう。

②災害時には通信が途絶えたり、電気が使えない可能性があります。

紙のマニュアルも用意しておきましょう。

定期的に更新をしていますか？

1年に1回くらいのペースで、**定期的にマニュアルを見直しましょう。**



いいえ

→以下の手順を参考に、マニュアルを作成し、従業員に共有しましょう。

①マニュアルを作成する…次の手順でマニュアルを作成しましょう。

[1] 災害を1つ想定する(例:地震、火事、大雨、暴風)

[2] その災害が起きた時にすべき行動を考える

[3] 「いつ・どこで・誰が・何をするか」を想定し、まとめる

※参考ページ:『東京防災』26～29ページ「[災害種別インデックス](#)」

②マニュアルを使ってみる

…作成したマニュアルを使って訓練を行い、**マニュアルが適切に機能するか確かめましょう。**

③マニュアルを従業員に配布する

…従業員に配布し、読み合わせや社内研修などで理解を深めましょう。

従業員向けはもちろんのこと、要配慮者への対応も想定しましょう。近年は外国人従業員も増えているため、**絵・ピクトグラム・漫画・やさしい日本語**を活用したマニュアルにするとわかりやすくなります。

東京事業所
防災実践
マニュアルは
こちら



★完成したら上記のチェックリストを参考に、マニュアルをより良いものに改善しましょう。

※出典元「東京事業所防災実践マニュアル」P110～P113 「7.災害対応マニュアルを作成すべし」より

東京都からのお知らせ

東京都では、発災時、**帰宅困難**になった場合に、リアルタイムで一時滞在施設の検索や開設状況、移動経路などの情報を表示できる「東京都帰宅困難者対策オペレーションシステム(通称:**キタコンDX**)」の運用をしています。発災時にみなさんの**身を守るためにもぜひご登録ください。**

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/topics/1000019/1029124/1030473.html>

LINE友達登録

